

# G-LOC FLOORING 施工説明書

## 1. 概要

- 1) 本製品は気温 18℃～30℃程度に維持された室内で保管、施工を行ってください。
- 2) 製品の色のばらつきを目立たなくするため、施工の際は数箱を同時に開け、それらをミックスしたうえで施工してください。

## 2. 床下地について

G-LOC FLOORING は“置き床”として施工されますが、普通の床施工と同様により良い施工のためには床下地の準備は非常に大切です。床下地に荒面や不陸がありますと本製品施工後も、表面の凹凸や過度の摩耗を招いてしまう恐れがあります。

### A. 木質床下地の場合

- 1) 木製床下地の場合、少なくとも床下に十分な通風スペースが確保されており、また床下も適切な防湿フィルムで覆われていなければいけません。
- 2) 床下地の表面が滑らかでない場合は、不陸調整シート(\*)を床下地の上に敷いてください。  
\*弊社製品「テプレックス」をお奨めします。

### B. コンクリート床下地の場合

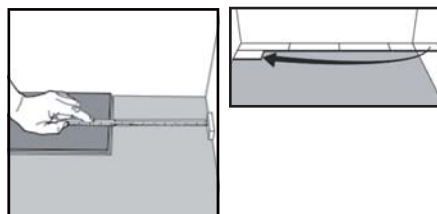
- 1) コンクリート床下地は十分に乾燥し、平滑で異物等が無い状態であればいけません。
- 2) 新しいコンクリートスラブの場合、完全に乾燥させ（少なくとも6週間以上）養生をさせていただきます。本製品の施工は必ずコンクリート床下地の含水率が8%以下であることを確認してから行ってください。
- 3) 床下地が平滑でない場合は、不陸調整シート(\*)を敷いてから本製品の施工を行ってください。  
\*弊社製品「テプレックス」をお奨めします。

## 3. 施工について

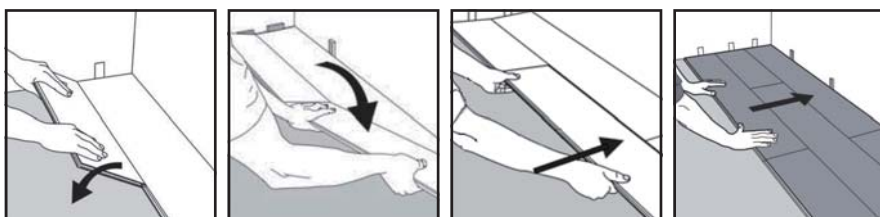
G-LOC FLOORING は“置き床”として施工されるように設計されています。床板は決して接着剤等で床下地に固定しないようにしてください。

また、過度な重量物等は決して床板の上に取り付けしないでください。

- 1) 床板を施工するスペースのサイズを正確に測定し、バランス良く張りあがるように床板のレイアウトをしてください。床板はなるべくランダムになるよう、短辺側の接合部を隣の列と150mm以上ずらすことをお奨めします。
- 2) 壁際より最初の列の床板の位置決めをします。  
スペーサーをご使用いただき必ず壁から5～8mm程度のクリアランスを確保してください。
- 3) 床板は四方実になっておりますので、まず短辺側のサネを接合し施工スペース内長手方向に1列目を作り、続いて2列目を施工していきましょう。



- 4) 2列目の施工は、すでに施工した1列目と2列目の長辺部の接合部同士を角度をつけて接合し押し込むようにしてください。3列目以降も同様にして施工してください



- 5) 施工後は床板を直射日光にさらさないよう、ご注意ください。

#### 4. 取り替えについて

G-LOC FLOORING は強く、耐久性があります。万が一損傷してしまった場合も、簡単に取り替えることが可能です。もし損傷部分が壁際であれば、端から損傷部分に達するまで床板を外し、その部分を新たな床板に交換するのが最も簡単な方法です。

上記方法が困難な場合、以下の方法で修繕してください。

- 1) まっすぐな当て木と切れ味のよい万能ナイフを用い、損傷している床板の中央部分を四方に隣接する床板からおおよそ20mmほど残しながら切り抜きます。
- 2) 床板の角から中央部に向かって慎重にカットします。
- 3) 中央部のくりぬかれた床板の周辺部を慎重に動かし、四方の実を外して取り除きます。
- 4) 交換用の新しい床板を下に向けて当て、長辺・短辺両方の実部分に万能ナイフで切り込みを入れて折り返し、取り除きます。
- 5) 床板を取り外してあらわになっている床下地部分にカーペット用両面テープを張ります。
- 6) 交換用の新しい床板のオス実部を隣の床板の長手方向メス実部に重ね配置します。
- 7) ハンドローラーを使い、床板をしっかり押さえてください。

#### 5. その他注意

一般的なスチール釘やセメントコート釘、樹脂やロージンのコート釘は床板の変色を引き起こす可能性があります。下地パネルの施工には必ずステンレス釘をお使いください。



株式会社ナガイ  
インテリア事業部

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 3-6-26  
TEL : 03-5772-4701 FAX : 03-5772-4702

<http://www.nagai.co.jp/>